



## 平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 喜勝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長

(氏名) 渡辺 英夫

TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	10,576	△4.7	396	10.6	374	31.2	60	△40.5
23年11月期第1四半期	11,102	△10.3	358	△41.2	285	△49.4	101	△66.1

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 243百万円 (△17.2%) 23年11月期第1四半期 293百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年11月期第1四半期	2.18	—
23年11月期第1四半期	3.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第1四半期	45,690	13,366	29.3
23年11月期	43,853	13,234	30.2

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 13,366百万円 23年11月期 13,234百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	43,400	5.3	1,040	58.1	820	64.5	290	—	10.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年11月期1Q	29,985,531 株	23年11月期	29,985,531 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年11月期1Q	2,390,944 株	23年11月期	2,389,356 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	27,595,477 株	23年11月期1Q	27,599,928 株
-----------	--------------	-----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧、欧州債務不安の後退および米国経済の回復期待並びにこれらを背景とした歴史的な円高からやや円安に転じたことなどにより、企業の生産活動が上向き、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、原油を中心とした資源価格の高騰が新たな景気の下押しリスクとなるなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な販売に努めましたが、農薬事業における水稲除草剤市場の流通在庫増加や、ファインケミカル事業の需要が引き続き低迷したことなどにより、全体の売上高は105億7千6百万円（前年同期比5億2千6百万円の減少、同4.7%減）となりました。

営業利益につきましては、売上高の減少に対し、農薬事業における売上原価率の低下や、広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が減少したことから、3億9千6百万円（前年同期比3千8百万円の増加、同10.6%増）となり、経常利益は3億7千4百万円（前年同期比8千9百万円の増加、同31.2%増）となりました。

四半期純利益につきましては、法人税等の増加により、6千万円（前年同期比4千1百万円の減少、同40.5%減）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

## 〔農薬事業〕

農薬製品の国内販売は、水稲用育苗箱処理剤「Dr.オリゼフェルテラ」、「ファーストオリゼフェルテラ」が伸長したものの、水稲用除草剤の流通在庫増加などにより減収となりました。一方、利益面では売上原価率の低下や販売費及び一般管理費の減少により、増益となりました。この結果、本セグメントの売上高は81億8千1百万円（前年同期比5億5千9百万円の減少、同6.4%減）、営業利益は4億2千5百万円（前年同期比4千3百万円の増加、同11.3%増）となりました。

## 〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、歴史的な円高と需要の低迷から、電子材料原料や樹脂添加剤等の受注は低調に推移しましたが、医農薬中間体や防汚剤等の販売が増加し、増収となりました。しかしながら、利益面では製造コストの増加などにより、減益となりました。この結果、本セグメントの売上高は23億6千万円（前年同期比3千6百万円の増加、同1.5%増）、営業利益は1億3千9百万円（前年同期比4千1百万円の減少、同22.8%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は456億9千万円となり、前連結会計年度末比18億3千6百万円の増加となりました。これは、農薬の需要期となる第1四半期の季節的変動による受取手形及び売掛金等の増加が主な要因です。

負債の残高は323億2千4百万円となり、前連結会計年度末比17億5百万円の増加となりました。これは、未払費用の減少はありましたが、原材料購入等に伴う支払手形及び買掛金の増加および短期借入金が増加したことが主な要因です。

純資産の残高は133億6千6百万円となり、前連結会計年度末比1億3千2百万円の増加となりました。これは、四半期純利益等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月期決算発表時(平成24年1月13日)に公表いたしました通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.43%から平成25年11月期から平成27年11月期までの連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.75%に、平成28年11月期以降の連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については35.37%となります。この税率変更により、繰延税金資産の純額が219百万円減少し、法人税等調整額が160百万円、その他有価証券評価差額金が59百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623	725
受取手形及び売掛金	13,275	14,808
商品及び製品	11,467	11,338
仕掛品	310	294
原材料及び貯蔵品	3,333	4,248
繰延税金資産	622	380
その他	398	210
流動資産合計	30,029	32,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,426	4,343
機械装置及び運搬具(純額)	3,743	3,606
土地	778	778
その他(純額)	381	427
有形固定資産合計	9,328	9,154
無形固定資産		
ソフトウェア	31	25
その他	360	357
無形固定資産合計	390	382
投資その他の資産		
投資有価証券	2,005	2,107
繰延税金資産	1,702	1,667
その他	412	388
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	4,106	4,150
固定資産合計	13,825	13,686
資産合計	43,853	45,690

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,223	7,419
短期借入金	7,867	11,089
1年内返済予定の長期借入金	1,893	1,987
未払法人税等	115	66
未払費用	3,840	1,860
賞与引当金	—	199
その他	2,137	1,701
流動負債合計	22,075	24,323
固定負債		
長期借入金	4,637	4,010
退職給付引当金	3,713	3,804
資産除去債務	62	62
その他	132	125
固定負債合計	8,544	8,002
負債合計	30,619	32,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	8,062	8,012
自己株式	△993	△993
株主資本合計	12,892	12,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	752
繰延ヘッジ損益	1	11
為替換算調整勘定	△292	△239
その他の包括利益累計額合計	342	524
純資産合計	13,234	13,366
負債純資産合計	43,853	45,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	11,102	10,576
売上原価	8,634	8,186
売上総利益	2,468	2,390
販売費及び一般管理費	2,110	1,994
営業利益	358	396
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	15
為替差益	—	42
受取手数料	19	1
その他	20	13
営業外収益合計	52	71
営業外費用		
支払利息	70	62
為替差損	25	—
その他	29	30
営業外費用合計	125	92
経常利益	285	374
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	3	—
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	12	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
特別損失合計	77	17
税金等調整前四半期純利益	212	357
法人税等	111	297
少数株主損益調整前四半期純利益	101	60
四半期純利益	101	60



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101	60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	119
繰延ヘッジ損益	△3	10
為替換算調整勘定	△20	53
その他の包括利益合計	192	183
四半期包括利益	293	243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293	243
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,740	2,325	11,065	37	11,102	—	11,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	98	98	△98	—
計	8,740	2,325	11,065	135	11,200	△98	11,102
セグメント利益	382	180	561	12	573	△215	358

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△215百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△215百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,181	2,360	10,542	34	10,576	—	10,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	98	98	△98	—
計	8,181	2,360	10,542	133	10,674	△98	10,576
セグメント利益	425	139	563	10	573	△177	396

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△177百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△177百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。